

工業用水道事業会計
主な収益の推移

(単位:千円)

項 目	平成30年度 決算	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 当初予算	令和4年度 当初予算	前年度増減
給水収益	1,200,150	1,209,648	1,204,601	1,202,936	1,187,222	△ 15,714
共同施設管理収益	314,258	299,176	262,217	301,164	333,012	31,848

工業用水道事業会計

尼崎市の工業用水道

給水開始時期	昭和 32 年	
市内配水能力	170,000 m ³ /日	
市内の配水管総延長	62 km	
給水社数	51 社	
年間総配水量	21,530,000 m ³	(前年度比 +0.8%)
1日平均配水量	58,986 m ³	
年間契約水量	47,363,000 m ³	(前年度比 -1.5%)
1日平均契約水量	129,763 m ³	
年間総給水量	21,376,000 m ³	(前年度比 +1.0%)
1日平均給水量	58,564 m ³	

(1) 工業用水道事業の施設のあり方（配水場の設備更新ほか）

78,238

将来においても安定的に事業を継続していくため、共同施設である園田配水場等の設備保全を行うとともに、他事業体と連携した施設のあり方の検討などを行う。

(450,587)

- ・配水管圧力遠方監視装置更新工事
- ・神崎浄水場工業用水配水ポンプ更新工事
- ・一津屋取水場導水ポンプ用吐出弁及び逆止弁更新工事 等



園田配水場 供用開始：昭和 42 年

(2) 管路の計画的更新と維持管理

277,147

配水管は、「重要度」「老朽度」「耐震性」の 3 つの観点から更新の優先順位を定め、その整備工事を行う。また、点検や修繕の履歴のデータを効率的に一元管理できるシステムを構築し、管路施設の管理の効率化を図る。

(249,551)

- ・配水管整備工事 323.0m
管路の耐震化率 見込み 64.6%
- ・管路施設管理システム構築等
債務負担行為（4年度提出分）金額 8,405